



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日  
上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社  
コード番号 4249 URL <https://www.moriroku.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 最高経営責任者 (氏名) 黒瀬 直樹  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理、IR担当 経理部長 (氏名) 小岩井 無我 TEL 03 (3403) 6102  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	71,670	7.0	1,626	54.9	562	△64.7	201	△79.4
2024年3月期中間期	66,969	△3.5	1,049	—	1,594	381.9	976	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 589百万円（△88.1%） 2024年3月期中間期 4,959百万円（76.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	13.71	—
2024年3月期中間期	64.56	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	131,770	75,701	56.5
2024年3月期	140,556	76,423	53.4

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 74,475百万円 2024年3月期 75,119百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2025年3月期	—	52.50	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	52.50	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	△0.4	3,200	△43.9	1,980	△68.0	1,110	△63.3	75.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	14,860,000株	2024年3月期	15,460,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	210,219株	2024年3月期	643,519株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	14,680,444株	2024年3月期中間期	15,131,250株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2024年3月期 221,800株、2025年3月期中間期 185,600株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期中間期 一株、2025年3月期中間期 201,779株)。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における自動車業界は、中国ではEVシフトや現地メーカーとの価格競争により日系自動車メーカーの販売が低迷し、アジアでも政治・経済情勢の影響から自動車の販売が落ち込むなど、厳しい事業環境が続きました。一方、日本や北米の底堅い需要が下支えとなり、為替も円安基調で推移しました。また、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格も、前年同期に比べて高い水準で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、生産性の向上や需要変動に対応したフレキシブルな生産・供給体制の構築を進め、収益確保に努めるとともに、次世代自動車の安全性、快適性、環境性能の向上に繋がる技術、製品、材料開発を推進してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、中国やアジアの減産はあったものの、為替の影響により71,670百万円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は、生産現場における原価低減や生産性の向上等のコスト改善努力により1,626百万円（前年同期比54.9%増）となりました。経常利益は、為替差損の計上により562百万円（前年同期比64.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産売却益を計上したものの法人税等の増加により201百万円（前年同期比79.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ①樹脂加工製品事業

中国およびアジアの減産が響き、グローバルの生産台数は減少しましたが、製品構成の変化や為替の影響により、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、減産の影響もありましたが、生産現場における原価低減や生産性の向上等のコスト改善努力により、前年同期を上回りました。

このような結果、当中間連結会計期間の売上高は58,155百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は973百万円（前年同期比116.9%増）となりました。

#### ②ケミカル事業

日系自動車メーカーの減産の影響を受け、日本、中国、アジアで自動車向け原材料の販売が伸び悩みましたが、北米向けの金型売上の計上や、半導体・電子材料の販売好調でカバーしました。ものづくり分野では、顧客の在庫調整の影響等により医療向け高機能フィルムの販売が減少しました。

このような結果、当中間連結会計期間の売上高は13,514百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は884百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は70,115百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,097百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が4,618百万円、現金及び預金が1,348百万円、商品及び製品が880百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は61,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ688百万円減少しました。これは主に、建設仮勘定が888百万円増加した一方、投資有価証券が932百万円、建物及び構築物が454百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は131,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,785百万円減少しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は45,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,280百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,651百万円、短期借入金が1,682百万円、電子記録債務が510百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ782百万円減少しました。これは主に、リース債務が323百万円増加した一方、長期借入金が517百万円、繰延税金負債が492百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は56,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,063百万円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は75,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ721百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が1,233百万円増加した一方、資本剰余金が1,281百万円、その他有価証券評価差額金が846百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より1,911百万円減少し、17,532百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,009百万円(前年同期は7,245百万円)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,336百万円、減価償却費4,013百万円、売上債権の減少額5,158百万円、仕入債務の減少額△4,323百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△3,494百万円(前年同期は△3,707百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△3,365百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△4,094百万円(前年同期は△2,944百万円)となりました。これは主に、短期借入金の純減額△2,153百万円、長期借入金の返済による支出△982百万円、配当金の支払額△751百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想については、当中間連結会計期間の業績に加え、引き続き中国で厳しい状況が見込まれること等を考慮し、2024年5月14日に公表した業績予想を修正しました。詳細については、本日公表した「営業外費用(為替差損)の計上ならびに2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異および2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,660	18,312
受取手形及び売掛金	35,658	31,039
電子記録債権	1,933	1,722
商品及び製品	7,132	6,252
仕掛品	3,629	3,841
原材料及び貯蔵品	4,519	4,430
その他	5,690	4,528
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	78,212	70,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	20,008	19,554
機械装置及び運搬具 (純額)	11,668	11,575
工具、器具及び備品 (純額)	5,979	5,662
土地	5,259	5,258
リース資産 (純額)	282	405
建設仮勘定	2,412	3,300
有形固定資産合計	45,610	45,756
無形固定資産	953	1,124
投資その他の資産		
投資有価証券	12,544	11,611
長期貸付金	311	283
退職給付に係る資産	1,284	1,300
繰延税金資産	1,036	913
その他	606	668
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	15,779	14,774
固定資産合計	62,343	61,655
資産合計	140,556	131,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,676	19,024
電子記録債務	1,858	1,348
短期借入金	16,943	15,260
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	1,697	1,546
リース債務	504	296
未払法人税等	812	576
その他	8,590	7,749
流動負債合計	53,253	45,973
固定負債		
社債	1,029	944
長期借入金	3,957	3,439
リース債務	529	853
繰延税金負債	4,191	3,698
債務保証損失引当金	26	93
退職給付に係る負債	449	463
資産除去債務	173	173
その他	522	429
固定負債合計	10,878	10,096
負債合計	64,132	56,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	2,680	1,398
利益剰余金	57,947	57,341
自己株式	△1,467	△570
株主資本合計	60,800	59,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,302	4,455
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	8,058	9,291
退職給付に係る調整累計額	620	603
在外子会社のその他退職後給付調整額	335	316
その他の包括利益累計額合計	14,318	14,666
非支配株主持分	1,304	1,226
純資産合計	76,423	75,701
負債純資産合計	140,556	131,770

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	66,969	71,670
売上原価	57,006	60,403
売上総利益	9,963	11,266
販売費及び一般管理費	8,913	9,640
営業利益	1,049	1,626
営業外収益		
受取利息	72	80
受取配当金	125	195
為替差益	953	—
持分法による投資利益	—	4
その他	97	88
営業外収益合計	1,249	369
営業外費用		
支払利息	657	529
為替差損	—	806
持分法による投資損失	0	—
その他	47	96
営業外費用合計	705	1,433
経常利益	1,594	562
特別利益		
固定資産売却益	99	844
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	159	33
特別利益合計	258	877
特別損失		
固定資産売却損	1	26
固定資産除却損	85	10
債務保証損失引当金繰入額	—	66
特別損失合計	87	104
税金等調整前中間純利益	1,765	1,336
法人税等	743	1,092
中間純利益	1,021	244
非支配株主に帰属する中間純利益	44	42
親会社株主に帰属する中間純利益	976	201



(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,021	244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,704	△847
繰延ヘッジ損益	5	△4
為替換算調整勘定	2,240	1,242
退職給付に係る調整額	△22	△17
在外子会社のその他退職後給付調整額	25	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△9
その他の包括利益合計	3,938	345
中間包括利益	4,959	589
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,907	548
非支配株主に係る中間包括利益	52	40

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,765	1,336
減価償却費	4,151	4,013
固定資産売却損益(△は益)	△97	△817
固定資産除却損	85	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	1
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△58	△21
受取利息及び受取配当金	△198	△275
補助金収入	△159	△33
支払利息	657	529
持分法による投資損益(△は益)	0	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△1,519	5,158
棚卸資産の増減額(△は増加)	△644	671
仕入債務の増減額(△は減少)	2,707	△4,323
その他	1,200	△149
小計	7,874	6,095
利息及び配当金の受取額	195	289
利息の支払額	△638	△530
法人税等の支払額	△187	△845
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,245	5,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△521
定期預金の払戻による収入	—	0
有形固定資産の取得による支出	△3,328	△3,365
有形固定資産の売却による収入	109	834
無形固定資産の取得による支出	△58	△162
投資有価証券の取得による支出	△591	△311
投資有価証券の売却による収入	0	—
補助金の受取額	151	32
短期貸付金の純増減額(△は増加)	7	—
その他	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,707	△3,494
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,104	△2,153
長期借入れによる収入	2,100	41
長期借入金の返済による支出	△868	△982
社債の償還による支出	—	△85
自己株式の売却による収入	—	100
配当金の支払額	△807	△751
非支配株主への配当金の支払額	△123	△118
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△7	—
リース債務の返済による支出	△133	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,944	△4,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	506	668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,099	△1,911
現金及び現金同等物の期首残高	17,658	19,444
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,758	17,532

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,509	13,460	66,969	—	66,969
セグメント間の内部売上高または振替高	277	863	1,140	△1,140	—
計	53,786	14,323	68,110	△1,140	66,969
セグメント利益	448	747	1,196	△146	1,049

(注) 1. セグメント利益の調整額△146百万円には、セグメント間取引消去566百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△712百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,155	13,514	71,670	—	71,670
セグメント間の内部売上高または振替高	423	648	1,072	△1,072	—
計	58,579	14,163	72,742	△1,072	71,670
セグメント利益	973	884	1,858	△232	1,626

(注) 1. セグメント利益の調整額△232百万円には、セグメント間取引消去613百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△845百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年11月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式202,900株の取得を行いました。また、当社は2024年8月8日開催の取締役会決議に基づき、2024年8月27日付で、自己株式600,000株の消却を実施しました。これらの自己株式の取得および消却等の結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が1,281百万円、自己株式が897百万円減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が1,398百万円、自己株式が570百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。